アラミド繊維の特性

アラミド繊維は、1960年代に登場したスーパー繊維で、3大合成繊維の一つナイロンと同じポリアミド (アミド結合によってできたポリマー)です。

しかし、ナイロンの脂肪族ポリアミドとは異なり、アラミド繊維の化学構造は芳香族ポリアミドです。

そこで、米連邦通商委員会 (FTC) が、1974年にナイロンと区別してアラミド (aramid) という一般名を与え、1977年に国際標準機構 (ISO) も人造繊維の分類名称としています。

アラミド繊維は、多くの優れた特徴をもち、タイヤの補強材、光ケーブルの補強材、プリント基板、防弾チョッキなどと共に、建設分野でも幅広く用いられています。

引張強度 N/mm²		
3,000	112.400	2.4



アラミドロッド・ケーブルの標準仕様

品番	公称直径 mm	公称断面積 mm²	単位質量 g/m	保証耐力 kN	弾性係数 N/mm²
RA3 / FA3	2.7	5.7	6.4	7.8	
RA5 / FA5	5.7	25.5	32	32	
RA7 / FA7	7.8	47.8	58	60	
RA9 / FA9	9.3	67.9	84	85	68.600
RA11 / FA11	11.0	95.0	115	112	
RA13 / FA13	13.7	147	173	172	
RA15 / FA15	15.7	193	226	225	

※ 表中のRAはアラミドロッドを、FAはアラミドケーブルを示します。

※ 表面に珪砂の付く製品は、品番にSが付きます。(例:RA3S, FA3Sなど)







アラミドロッド

アラミドロッド(曲げ成形)

アラミドケーブル

ファイベックス株式会社

www.fibex.co.jp

FBB06

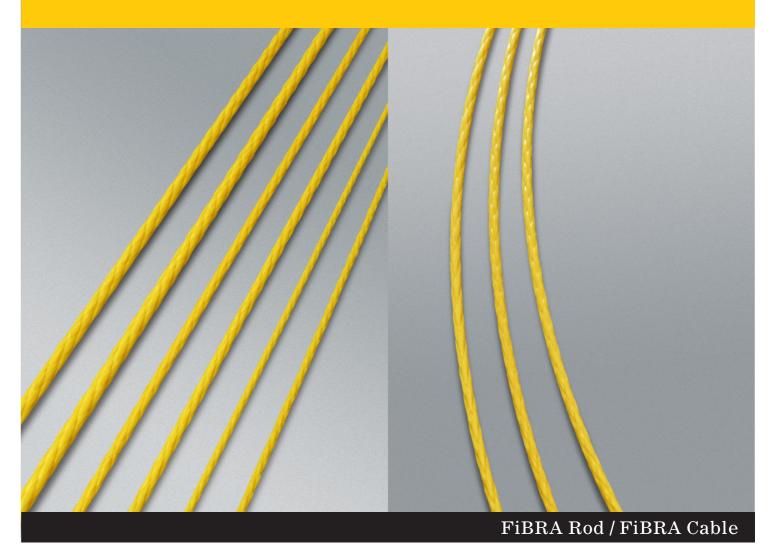
本 社:〒141-8688 東京都品川区北品川 5 丁目 9 番 12 号 ON ビル 7 階 TEL 03-5739-5287 FAX 03-5739-5263

技術センター : 〒322-0603 栃木県栃木市西方町本郷 42番地 6 TEL 0282-21-7508 FAX 0282-21-7509 栃 木 工 場

コンクリート構造物補強材

アラミドロッド・ケーブル

Aramid Rod / Aramid Cable





※FiBRA (フィブラ) はファイベックス株式会社の登録商標です

アラミドロッドおよびアラミドケーブルは、アラミド繊維を組紐に加工し エポキシ樹脂を含浸させた連続繊維補強材です。

アラミドロッドは主に鉄筋代替として、アラミドケーブルはプレストレスト コンクリートのプレテン用緊張材として用いられます。



アラミドロッド・ケーブルの特徴

■高強度です

引張強度は、鉄筋 (SD295) の約2.8 倍と高強度です。

■高耐久です

錆びず、耐水性、耐熱性にも優れています。

■非導電・非磁性です

電流や磁界の影響を受ける構造物に最適です。

【軽量です

重量は鋼材の約5分の1と軽量です。

■曲げ成形できます

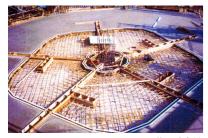
ロッドは曲げ成形によりフックをつけることができます。

アラミドロッドの用途 — コンクリート構造物などの補強材

アラミドロッドは、補強筋配置が錯綜する箇所、塩害による劣化を生じさせない高耐久構造物、 電気絶縁性や非磁性が要求される構造物などに適しています。

■建築基礎 1

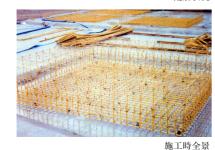




理化学研究所ゲノム科学総合研究センターの NMR 棟 (RA13S 延べ 30,000m)

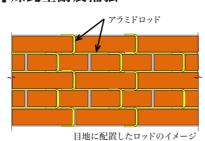
■建築基礎 2





海洋科学技術センター地球シミュレーター施設 (RA9S RA15S 延べ 30,100m)

┃煉瓦壁耐震補強





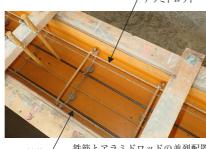
旧端出場水力発電所 RA15S, RA3S 1,600m

【引留鉄構基礎



日本原子力研究所東海研究所 154kV 受電用引留鉄構基礎

| アラミドロッド補強



鉄筋とアラミドロッドの並列配置

アラミドケーブルの用途 — PC 構造物の緊張材

アラミドロッド (FiBRA Rod)

アラミドケーブルは、PC まくらぎ、PC 歩道橋、PC 道路橋の プレテン用緊張材などに適しています。

【プレテン PC 橋





【PC 浮橋



■検査路プレテン床版

アラミドケーブル (FiBRA Cable)





■PC まくらぎ



▮吊床版橋

■外ケーブル補強

